

西塚所長(左端)から説明を受ける党都本部のメンバー=26日 東京・墨田区役所



「地域力」で重症者ゼロ

党都本部

墨田区の取り組み聴取

公明党東京都本部の高木陽介代表(国会対策委員長)、高木美智代代表代行(衆院議員)は26日、墨田区役所で西塚至・保健所長から「重症者・入院待ちゼロ」を続ける同区の新型コロナウイルス対策について説明を受けた。加藤雅之都議、区議が同行した。

西塚所長は①保健所の人員を増やして早期検査・治療や自宅療養者の経過観察を徹底②9月末までに全対象者の83%が2回目を打ち

終える予定のワクチン接種推進策③コロナ専用病床の拡充と、症状が回復した人が移る後方病床の整備——などが奏功していると分析。これまで災害時を想定して区、保健所、医師会、薬剤師会、住民らが連携してきた「地域力」により、充実した医療提供体制が実現していると説明した。高木代表は「『墨田区モデル』を他の区市町村に広めるため、議員のネットワークで取り組みたい」と述べた。